第4回高校生体験セミナー

医師の仕事　肌で実感

県内の1年生25人参加

医師を目指す福島県内の高校1年生を対象にした第4回「地域医療体験セミナー」は8月20日㈫午前8時半から郡山市の総合南東北病院で開かれ、25人（男子12人、女子13人）の生徒が医師の仕事に理解を深めるとともに、目標実現への意欲を高めました。

県教委の委託事業「ふくしまの未来を担う夢応援事業」の一環で、将来の地域医療を担う人材の育成が目的。当院が医療人ネットワーク合同会社（福島市）と連携して年2回開催しています。

緊張しながら腹腔鏡による手術を見守る高校生ら

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を見学する高校生

北棟第5会議室でオリエンテーションが行われ、生徒たちは寺西寧院長からセミナーの趣旨や病院の概要などを聞きました。この後、外科、心臓血管外科、外傷センター、脳神経内科・脳神経外科、放射線治療・循環器内科、消化器内科・放射線治療、消化器内科・泌尿器科の7つの班に分かれて研修に入りました。

このうち外科班は胃がんの切除手術、心臓血管外科班は鼠径ヘルニアの手術の見学に臨みました。いずれも腹腔鏡による手術。医師と同じく手術室用の衣服に着替えた生徒たちは、入念に洗剤で手洗いしゴム手袋を装着。緊張した表情で手術の開始から終了までを見守りました。引き続き両班の生徒は当院が導入している手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXi」も見学、機械の操作を体験しました。

放射線治療のシミュレーターを体験する高校生

心臓カテーテルの器具の取り扱いを学ぶ高校生

このほかの班は外傷センターでの模擬体験、診療の現場見学、放射線治療のシミュレーター体験、内視鏡検査の見学などを行いました。

昼には第5会議室で合同のランチョンセミナーが開かれ、医師から福島県内の医療状況、医師になるまでの道のりや学習法、医師としての体験談や仕事のやりがいなどを聞きました。午後からも班ごとのプログラムに沿って研修が行われ、5時に終了しました。生徒からは「医師はコミュニケーション能力も大切と感じた」「医師以外のスタッフの役割も重要で、医療は医師だけでは成り立たないと思った」などと率直な感想が寄せられました。

ネットで初診予約受け付けています

南東北医療クリニックと南東北眼科クリニックは、インターネットで初診予約を受け付けています。診療科は脳外科、眼科、小児科、内科、泌尿器科、皮膚科、スポーツ整形です。①総合南東北病院の初診予約専用ページから受診する診療科をクリック②診察日時を選び必要情報を入力③送信―で予約完了です。予約可能な診察時間は診療科によって異なります。電話での予約・問い合わせは、フリーダイヤル0120・14・5420へ。

新任ドクターです

8月・9月着任

こまきね　ようへい
駒木根　陽平
初期臨床研修医2年

さとう　だいすけ
佐藤　大介
初期臨床研修医2年

わたなべ　むつや
渡邉　睦弥
【緩和ケアセンター】センター長